

令和7年度第2回周南医療圏地域医療構想調整会議 議事概要

【日時】 令和8年2月5日（木） 16：15～17：15

【場所】 オンライン開催

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 紹介受診重点医療機関の選定について協議し、4つの医療機関を継続して選定した。
- 光総合病院及び大和総合病院に係る公立病院経営強化プランについて説明があり、地域医療構想との整合性について確認した。
- 光総合病院及び周南リハビリテーション病院、徳山リハビリテーション病院、浅上内科胃腸科医院の対応方針の変更について協議を行い、合意した。
- 新たな地域医療構想の策定及び医療計画の中間見直しについて説明を行った。

1 令和7年度紹介受診重点医療機関の選定について

県医療政策課から、紹介受診重点医療機関の選定について説明を行った。

協議の結果、光総合病院、新南陽市民病院、徳山中央病院及び徳山医師会病院を継続して選定した。

（主な意見・質問等）

特に意見、質問等はなし。

2 山口県外来医療計画に係る報告について

周南健康福祉センターから、山口県外来医療計画に基づき提出された「医療機器の共同利用計画」について報告を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見、質問等はなし。

3 公立病院経営強化プランについて

光市病院局から光総合病院及び大和総合病院の経営強化プランについて、必要な医療提供体制の充実を図るため、両病院間における機能分化や関係医療機関等との連携を強化することなどが示され、協議の結果、病院の果たすべき役割・機能などについて、地域医療構想との整合性を確認した。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

4 対応方針(2025プラン)の変更について

光市病院局から光総合病院について、将来の医療需要を見据えて急性期病床数を11床減らして合計199床とする説明がなされた。

また、医療法人社団生和会から周南リハビリテーション病院の慢性期の6床を、市内中心部に位置する同法人の徳山リハビリテーション病院へ、回復期病床として移設し地域の回復期機能強化に貢献する説明がなされた。

さらに、県医療政策課から下松市の浅上内科胃腸科医院について、診療所の廃止に伴い休棟となっていた7床を削減する説明がなされた。

協議の結果、全ての対応方針(2025プラン)の変更について合意した。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

5 新たな地域医療構想の策定及び医療計画の中間見直しについて

県医療政策課から、新ば地域医療構想の策定及び医療計画の中間見直しについて説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。